

医学博士号の修業年限短縮と 中央地方行政の経験

Skipping of the Doctor of Medical Science and
Experiences of Central and Local Governments

乾 明成

Akinari INUI

キーワード：医学博士号、修業年限短縮、
地方行政、医科歯科連携、
厚生労働省



(いぬい・あきなり)

ICDフェロー

日本公衆衛生学会認定
専門家

青森県五所川原保健所

日本大学歯学部歯学科
病理学講座

弘前大学大学院医学研究科
社会医学講座

I. 弘前大学大学院医学研究科：医学博士号の修業 年限短縮と多数の外部資金獲得

私は日本大学歯学部歯学科を平成24年に卒業し、同窓会会長賞を授与された。在学中に宮崎真至教授の保存修復学講座から受けた院内実習の指導は、忘れられない思い出である。

弘前大学は大学院生を病院医員として有給で過ごせると聞き、家庭の諸事情によって、臨床研修は弘前大学医学部附属病院へ進んだ。平成26年から弘前大学大学院医学研究科歯科口腔外科学講座の社会人大学院生となり、日中は病院臨床、夜間は疫学研究という生活を送った。社会医学講座の中路重之研究科長（医学部長）が主導する岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診¹⁾に従事した。国立大学法人弘前大学は、平成25年に文部科学省から「革新的イノベーション創出プログラム（年間10億円程度で9年間）」の採択を受けた（図1）。同プロジェクトは地域住民に詳細な総合健診を実施し、ビッグデータを構築・解析して疾患予防とその社会実装を目指すものである。私はその医学部総合健診における歯科部門のマネージャーを拝命し、歯科部門の運営とそのための外部資金獲得に尽力した。歯科口腔外科学講座の木村博人教授による指導をいただき、文部科学省科学技術研究費若手研究B「歯の喪失と口腔機能の低下が健康寿命に及ぼす影響に関する疫学的検討」が採択された。3年間で外部資金は合計7件（代表4件及び分担3件）が採択された。歯科部門の活動が注目されて、弘前大学COI研究推進機構によって、平成28年にライオン株式会社が寄附講座「オーラルヘルスケア学講座」を開設された。

疫学研究では約1,000人の地域住民を横断的に多変量解析し、現在歯数が多く咬合状態が良好な者ほど、握力が強く、歩行も速いことを明らかにした²⁾。口腔の乾燥と現在歯数が、年齢、生活習慣及び合併症よりも嚥下障害に関係していた³⁾。歯科口腔外科学講座の小林恒教授から指導を受けて臨床論文⁴⁾も執筆し、合計筆頭8件（英文3件、和文5件、合計IF：7.7）が採択された。これらの業績が評価されて、平成27年に医学研究科教授会の審議によって修業年限



図1 真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点

Fig. 1 Pioneering “Healthy Power” Creation Center for Fostering Real Social Transformation

が1年間短縮されて、3年間で医学博士号を授与された(図2)。

II. 青森県基本計画重点事業：糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業

大学院修了後は公衆衛生に関心を抱き、青森県庁へ入職して糖尿病の医科歯科連携を推進した。令和元年度には青森県基本計画重点事業⁵⁾となり、医学部糖尿病内科教授、医学部歯科口腔外科教授、青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会等を構成員とした糖尿病の医科歯科連携に関する検討会を開催した。「全ての糖尿病患者は歯科受診勧奨」と決議され、協力医療機関が医科と歯科で整備⁶⁾された。青森県医師会に委託して郡市医師会ごとに医科歯科合同研修会、青森県歯科医師会に委託して3カ所で県民公開講座を開催した。その結果、医科から歯科への紹介が令和2年度は799件から、令和3年度は1,433件に増加した。



図2 雪の降る中で中路重之教授(医学部長)との記念撮影(平成29年3月23日)

Fig. 2 Commemorative Photograph with Prof. Shigeyuki Nakaji (the Dean of the School of Medicine), March 23, 2017

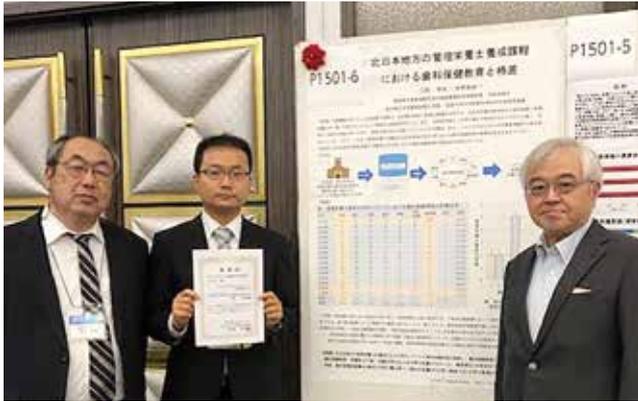


図3 第78回日本公衆衛生学会総会ポスター賞
(令和元年10月23日)

Fig. 3 Poster Award at the 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Public Health, October 23, 2019

Ⅲ. 日本医学会分科会公衆衛生学会ポスター賞及び 日本大学歯学部同窓会佐藤賞

県行政入職後は、岩手県立大学盛岡短期大学部講師の相馬優樹氏と共同で、管理栄養士・栄養士における歯科保健分野の教育の状況を調査した。北日本地方の管理栄養士養成課程がある15大学中Webシラバスで、『歯周病』が記載されているのは1校のみであることなどを公衆衛生学会総会で発表し、公衆衛生従事者の育成部門でポスター賞を授与された(図3)。調査を全国に拡大し、歯科医療管理学会へ論文報告⁷⁾した。これらの研究成果⁸⁾によって、日本大学歯学部同窓会による佐藤賞を授与された(図4)。

Ⅳ. コロナ下の厚生労働省：がん対策の検討会、補助金及びオンライン化

コロナ下の厚生労働省に2年間勤務し、がん対策に従事した。緊急事態宣言下におけるがん検診、全国がん登録情報、がんの全ゲノム、厚生労働科学研究費補助金、国庫補助金及び委託事業等に関して、審査執行や管理監督に従事した⁹⁾(図5)。研究推進、法改正及び国際協力の観点から、内閣官房健康・医療戦略室、国立がんセンター、個人情報保護委員会、大学教授、関係団体等を連絡調整し、委員任命や審議会等に従事した。コロナ下で当時オンライン化は難題とされていたが、Wi-Fiを整備し、オンライン会議を開催した。

JICD, 2024, Vol. 55, No. 1

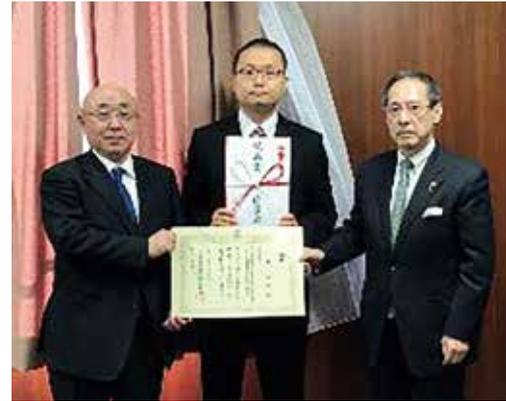


図4 第69回佐藤賞(日本大学歯学部学術賞)第129号
(令和2年11月14日)

Fig. 4 69th Dr. Sato Award (Nihon University School of Dentistry Academic Prize) No. 129, November 14, 2020

Ⅴ. 保健所：新型コロナウイルス感染症の疫学調査 や小児口腔機能発達不全症事業

青森県庁に復帰し、五所川原保健所で疫学調査班として、感染症対策を整理した。令和4年度より「多職種による小児口腔機能発達不全症の調査啓発事業」を実施している。特定健診・レセプトデータを分析し、健康西北五21(第2次)計画を担当している。

今後は、医学研究や中央地方行政の経験を活かした仕事ができたらと考えている。

最後に厚生労働省健康局 がん疾病対策課の乾様からのご挨拶、この研修会の総括を行った大阪大学大学院の平井啓先生から閉会のあいさつをし、会は閉会いたしました。



図5 厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」(一般社団法人日本サイコロネロジー学会)(令和3年11月3日)

Fig. 5 “Training Program for Personnel Involved in Comprehensive Cancer Consultation” commissioned by the Ministry of Health, Labour and Welfare. The Japanese Society of Psycho-Oncology, November 3, 2021

参考文献

- 1) 日本の研究.com : 真の社会イノベーションを実現する革新的「健やか力」創造拠点 <https://research-er.jp/projects/view/955220> (令和5年11月23日アクセス)
- 2) Inui A, Takahashi I, Sawada K, Oyama T, Tamura Y, Osanai T, Satake A, Nakaji S, Kobayashi W : Teeth and physical fitness in a community-dwelling, 40-79-year-old Japanese population. *Clinical Interventions in Aging*, 11 : 873-878, 2016.
- 3) Inui A, Takahashi I, Kurauchi S, Soma Y, Oyama T, Tamura Y, Noguchi T, Murashita K, Nakaji S, Kobayashi W : Oral conditions and dysphagia in Japanese, community-dwelling middle and old adults independent in daily living. *Clinical Interventions in Aging*, 12 : 515-521, 2017.
- 4) Inui A, Itou R, Oyama T, Tamura Y, Kubota K, Kobayashi W : Comparison of sialolithiasis in pediatric and adult patients. *Oral science International*, 14 : 37-39, 2017.
- 5) 乾明成 : 糖尿病と歯周病の相互作用と県事業. あおもりの国保, 10-12, 2019.
- 6) 青森県庁 : 糖尿病と歯周病の患者さんに, 内科, 歯科の受診をお勧めしています~青森県「糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業」について~ <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/ganseikatsu/ikasikarenkeizigyo.html> (令和5年11月23日アクセス)
- 7) 相馬優樹, 乾明成 : 管理栄養士・栄養士養成大学における歯科保健教育の養成課程及び地域差—Web上で公開されているシラバスを用いて—, *日本歯科医療管理学会雑誌*, 55 : 210-216, 2021.
- 8) 相馬優樹, 乾明成, 浅沼美由希 : う歯・歯周病に関する管理栄養士・栄養士の学習状況と関連要因の検討, *日本公衆衛生雑誌*, 67 : 573-581, 2020.
- 9) 一般社団法人日本サイコオンコロジー学会 : 厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」 <https://www.peer-spt.org/activity20211103/> (令和5年11月23日アクセス)

●抄録● 医学博士号の修業年限短縮と中央地方行政の経験
／乾 明成

私は日本大学歯学部を卒業し、弘前大学大学院医学研究科へ進んだ。当時の医学部長主導による総合健診の疫学研究で歯科部門を担当し、研究成果が評価されて3年間で医学博士号を授与された。青森県庁では糖尿病医科歯科連携を担当し、紹介件数を799件から1,433件に増加させた。コロナ下の厚生労働省に2年間勤務し、がん対策に従事した。現在は五所川原保健所の多職種で、多機関による小児口腔機能発達不全症の調査研修を実施している。

キーワード：医学博士号、修業年限短縮、地方行政、医科歯科連携、厚生労働省

Skipping of the Doctor of Medical Science and Experiences of Central and Local Governments

Akinari INUI, D.D.S., D.M.Sc., F.I.C.D.

*Public Health Specialist of Japanese Society of Public Health,
Aomori Prefecture Goshogawara Public Health Center,
Department of Pathology, Nihon University School of Dentistry,
Graduate School of Medicine, Department of Social Medicine, Hirosaki University*

I graduated from Nihon University School of Dentistry and subsequently obtained my postgraduate studies at the Graduate School of Medicine, Hirosaki University. During my time there, I managed the dental department in an epidemiological study of comprehensive health checkups spearheaded by the Dean of the School of Medicine. My research was highly evaluated and I was awarded a Doctor of Medical Science within three years.

During my tenure at the Aomori Prefectural Government, I spearheaded diabetes medical and dental collaboration initiatives, achieving a remarkable increase in referrals from 799 to 1,433. My contributions to cancer control initiatives during my two-year tenure at the Ministry of Health, Labour and Welfare under Corona have been instrumental in advancing public health. Currently, I am actively involved in multiagency research and training on pediatric oral dysfunction at the Goshogawara Public Health Center.

Key words : Doctor of Medical Science, Grade Skipping, Local Government,
Medical and Dental Collaboration, Ministry of Health, Labour and Welfare